

# 日本アーカイブズ学会 2023年度大会

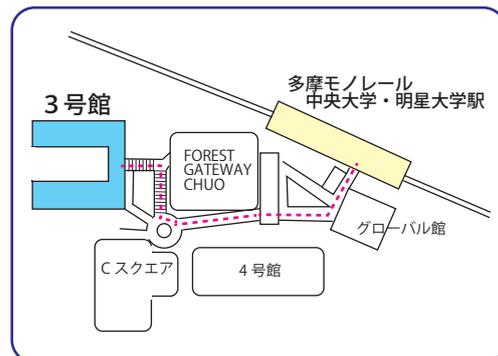
日程：2023年4月22日(土)・23日(日)

会場：中央大学多摩キャンパス3号館

多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』直結徒歩2分

- 会場へは公共交通機関でお越しください。
  - 周辺にレストラン等はありません。
- 23日(日)の昼食は各自で用意ください。

開催形式：ハイブリッド形式(対面・オンライン併用)



4  
22(土) 総会・大会講演会

【大会講演会】

「日本のアーカイブズ保存論」

講演者：青木 睦  
(元国文学研究資料館)



プロフィール：1981年から2023年3月まで国文学研究資料館(国立史料館：国文学研究資料館史料館)に勤務。学習院大学大学院でアーカイブズ管理研究Ⅲ(記録アーカイブズ保存と修復)、法政大学で文書館管理研究を担当。文化財保存修復学会業

績賞(2011年)、元全国歴史資料保存利用機関連絡協議会理事。MLA(Museum・Library・Archives)、企業など、民間所在アーカイブズの紙資料を主としたアーカイブズの保存修復に関する調査研究を専門としてきた。アーカイブズ保存のための物理的コントロールシステムの確立を目指す。著書に、『被災資料救助から考える資料保存 東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心に』(けやき出版、2013年)、『紙と本の保存科学』(共著、岩田書院、2009年)、『Preservation and Conservation of Japanese Archival Documents in the Vatican Library』(共編著、バチカン出版局、2019年)など。

4  
23(日) 自由論題研究発表会  
大会企画研究会

【大会企画研究会】

「アーカイブズ編成・記述の現在  
—国際的動向を背景に—」

企画趣旨：2023年3月、国際アーカイブズ評議会(ICA)が数年来取り組んできた新しいアーカイブズ記述の国際標準、Records in Contexts(RiC)の正式版が公表される予定である。デジタル化が進む社会の中で、アーカイブズ作成の文脈をドキュメントする編成と、その表現形である記述のあり方も変容しつつある。そこで本研究会では、日本におけるアーカイブズの編成・記述について、アーカイブズ記述の国際標準であるISAD(G)の紹介で幅広く受容されたマルチレベル記述、およびオーストラリア・シリーズ・システムを用いた実践をふり返る。さらにRiCが何を指し、何を可能とするのかを検討したうえで、アーカイブズ編成・記述論の到達点と、今後の方向性について議論する。

# 日本アーカイブズ学会 2023 年度大会開催概要

【日程】 2023 年 4 月 22 日 (土)・23 日 (日)

【会場】 中央大学多摩キャンパス 3号館

【開催形式】 ハイブリッド形式 (対面・オンライン併用)

【参加登録】 下記フォームからご登録ください。

参加登録はこちらから→



<https://forms.gle/c5Yj8F5NQwh7jwh79>

\*ご登録は、2023 年 4 月 21 日 (金) までをお願いいたします。

\*フォームの「送信」後、フォームに記入した内容がメールに返送された時点で、参加登録は完了します。

\*もし「送信」後しばらくしてもフォーム記入内容を含むメールが届かない場合は、

お手数ですが大会登録関係専用アカウント [jsaskenkyu2023@gmail.com](mailto:jsaskenkyu2023@gmail.com) までご一報ください。

【参加費】 会員 500 円、非会員 1000 円 \*部分参加でも全日程参加でも同額です。

<納付方法>

・会場でご参加の方は、会場受付にて現金でお支払いください。

・オンラインでご参加の方は下記の通り請求いたしますので、指定の口座にお振り込みください。

会員：5月に2023年度会費請求書を送付しますので、会費納付の際に合わせてお振り込みください。

非会員：参加登録をされた方にメールで参加費の請求書を送付しますので、メール到着後2週間以内にお振り込みください。 \*振込手数料はご負担ください。

【プログラム】※タイトル、時間、会場等は変更となることがあります。

4月22日(土) 総会・大会講演会

12:30 受付開始

13:00～15:00 総会 (会員のみ)

15:15～16:30 大会講演会 《3115 教室》

青木睦 (元国文学研究資料館) 「日本のアーカイブズ保存論」

4月23日(日) 9:30 受付開始

10:00～12:20 自由論題研究発表会

13:30～17:00 大会企画研究会

## ●自由論題研究発表会 4月23日(日) 10:00～12:20

【第1セッション】《3354 教室》

田口 一博 「地方議会資料における会議録の意味とアーカイブズ学との関係」

堀内 暢行 「電子記録管理における電子メール特殊性 ―電子帳簿保存法への対応を事例として―」

橋本 陽 「AI vs HI: 日本のアーカイブズの実務に AI を導入するための前提を考える」

浅野 真知 「診療録 (カルテ) の情報開示をめぐる諸問題 ―情報開示請求の事例から考察する―」

【第2セッション】《3353 教室》

池永 禎子 「国立療養所大島青松園社会交流会館蔵「林記念文庫」に関する考察 ―アーカイブズ学の視点から―」

林 美帆・除本 理史 「岡山・水島の公害資料館開設におけるアーカイブズの活用事例」

齋藤 歩 「1980年代米国の「建築図面アドバイザー・グループ ADAG」における国・地域と専門領域の交わり

―欧州またはアーカイバル・コミュニティからの参加者に注目した議事録分析―」

香村 由佳 「近現代建築物に関する記録の管理と記述について ―旧朝香宮邸を事例として―」

## ●大会企画研究会 4月23日(日) 13:30～17:00 《3115 教室》

テーマ: 「アーカイブズ編成・記述の現在 ―国際的動向を背景に―」

スピーカー: 清水 邦俊 (国土館史資料室) 「民間史料における編成と記述の再確認 ―整理現場の視点から―」

千代田裕子 (東京大学文書館) 「東京大学文書館におけるシリーズ・システム導入の試み ―現状と課題について―」

元 ナミ (東京大学文書館) 「アーカイブズ記述の新標準: Records in Contexts (RiC) をめぐる最新動向と今後の展望」

論点整理: 坂口 貴弘 (創価大学)

【問い合わせ先】

日本アーカイブズ学会事務局

E-mail: [office@jsas.info](mailto:office@jsas.info)